

研究課題

「Fludarabine/Busulfan/Melphalan の前処置による臍帯血移植の治療成績に関する後方視的研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

当院血液内科にて、2016年11月から2019年6月までの期間に、Fludarabine/Busulfan/Melphalan の前処置および、タクロリムス単独の移植片対宿主病予防にて臍帯血移植を実施された患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

臍帯血移植は、同種造血幹細胞移植の適応でありながら、血縁ドナーの存在しない患者さんに対して広く実施されています。臍帯血移植における最大の問題点は、生着不全の頻度が高いことですが、当施設では、次の二点により生着不全を減らす試みを行っています。一つは、移植片対宿主病の予防をタクロリムス単独で行うという方法です。通常併用されることの多いメトトレキサートを省略することにより、迅速な生着を達成することができます。もう一つは、前処置として、Fludarabine/Busulfan/Melphalan を用いることです。通常の前処置である Fludarabine/Busulfan に Melphalan を加えることにより、より強力な免疫抑制が得られ、ドナー由来の細胞がより安定して増加することが期待されます。本研究は、この方法で行われた臍帯血移植の治療成績を解析し、この移植法の妥当性を検証することを目的として行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から、年齢、性別、診断、移植方法、生着の有無、合併症の発生状況、再発の有無、生存情報を抽出します。新たな人体試料の採取はありません。

4. 外部への試料・情報の提供

研究結果は、学会や学術誌に公表されることがあります。その際、個人情報は匿名化された上で厳重に管理され、個人が特定される情報は公開致しません。対応表は、個人情報管理担当者が厳重に保管・管理致します。

5. 研究組織

研究代表者：血液内科学 教授 高山信之

研究責任者：血液内科学 教授 高山信之

研究事務局：血液内科学 教授 高山信之

分担研究者：血液内科学 准教授 佐藤範英

分担研究者：血液内科 任期制助教 小林誠

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

杏林大学医学部血液内科学 高山信之

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

TEL 0422-47-5511 内線 5827

FAX 0422-44-0633

E-mail: ntakayam@ks.kyorin-u.ac.jp